



クラスの様子【6月号】



ひよこ・りすぐみ 今月の目標

『安心感をもって保育園で生活する。他者と触れ合い、関わることの楽しさを感じていく。』

新年度がスタートし、あっという間に2か月が経ちました。5月には1人のおともだちが、ひよこぐみに仲間入りし、ひよこ・りすぐみは全員で15人になりました。まだまだおうちの方との離れ際、不安やさみしさから泣いてしまうこともあります。毎日の生活の中で、少しずつリズムもでき、安心できる場所(ゾーン)、玩具があることで、自分で気持ちを切り替えたり、立て直すことが出来てきているように思います。また、1日の流れとして、登園後の自由遊び、朝のお集り、主活動、給食、午睡、3時のおやつ等がありますが、保育士の言葉がけや、おともだちの動きを見て、次の動きに自ら動くことが出来る子どもたちもいます。ひよこぐみのハイハイの子も、りすぐみの子どもたちの動きを見てついていく姿を見ると、子ども同士の集団の中での育ちの凄さを感じます。排泄の面では、自分で着脱をしたい子もあり、排泄用の3人掛けのベンチに座り、おともだちの姿を見ながら奮闘しています。時には後ろと前が反対になることもあります。出来た時は、本当に満足そうな顔をしています。お散歩に出かける時の靴も同様で、なかなかすんなり履けないものの“自分でやりたい”という思いの子もいます。その気持ちは次の成長に繋がっていくと思いますので、これからも大事にしていきたいです。今、らいおんぐみの“お手伝い保育”の子が来ています。一緒に遊んだり、お散歩に出かけたり、時間を共有する中で、子どもたちに寄り添ったり、手を貸してあげる姿もあります。この交流を通して、相手の思いを知るという経験が出来ていけばと思います。暑さが厳しくなっていきますが、体調に気を付けながら、戸外での活動を楽しんでいきたいと思っています。(伊達)



うさぎくみ 今月の目標

『生き物の命を認識して大切に扱う。』

先月は、急に汗ばむほど暑い日もあり不安定な気候ですが、毎朝元気な「おはよう」の声がお部屋内に響いています。外で遊ぶのが大好きなうさぎ組では、園庭に出るなりダンゴムシやアリ、ミミズなどを夢中で探したり観察したりと楽しんでいます。最初は、自分たちでたくさんの虫たちがいるスポットを探すのが難しかった子どもたちは、「いっしょにダンゴムシさがそ!」「ミミズみつけて!」と保育士を巻き込んで遊んでいました。その都度一緒に探したり虫が多い場所を教えたりするうちに、以上児のお兄ちゃん・お姉ちゃんの真似っこをしてバケツや虫かごをもって子ども達同士で見つかったり協力したりして探す姿がありました。ですが手先の力加減の調節がうまくできなかったり、とにかく虫を捕まえない!の一心で、虫を何度も掴んで潰してしまったり、力強くつまんでしまったりという姿もあります。お散歩では、用水路で見つけたカニを保育園に持って帰り、お部屋で飼っています。子どもたちは虫かごに顔が張り付くくらい夢中になってカニを観察していました。給食室へカニの餌の煮干しをもらいに行き、手のひらにのせて「たべやんなあ～」といいながらあげていました。少しずつ生き物への関心を深め、命の大切さを感じ、責任感や思いやりの心も養っていききたいと思います。(小松)



以上児 今月の目標

『梅雨時期の生き物や自然に関心を持って関わる。』

新年度がスタートして二か月が経ち、心地良い春の気候もあっという間に過ぎ去り、まもなく夏を迎えようとしています。春からライオン組のみんなは、お手伝い保育に取り組んでいます。張り切って色んなお手伝いをする姿をくま組の子が見て「私もライオン組になったらお手伝い保育にいけない？」と異年齢のつながりや憧れの気持ちが高まっています。今年度はプランターでミニトマトを育てる事になりました。こあら・くま組のみんなにも水やりや収穫等をお兄ちゃんお姉ちゃんと一緒に行いながら、お手伝いが出来た喜びや達成感を感じたり、自分達で野菜を育てる事で、食への関心も高まっていくといいなと思います。選択活動の中に色々な実験を取り入れています。先日は砂糖と洗剤を入れて、割れないシャボン玉作りに挑戦しました。分量通りに入れてもなかなか上手くいかず、そこで子ども達で相談しながらもう一度シャボン玉液を作ってもらいました。「もっと砂糖を入れてみよ！」「塩もいれてみよに」と意見を出し合い、試行錯誤しながらシャボン玉液を作る子ども達。結果は成功しませんでした、それでもこの過程の中で育まれる思考力や協力する力はとても大切な経験で、失敗も又貴重な学びだと感じました。重曹を使って二酸化炭素を発生させ、風船を膨らませる実験では「なんか風船が冷たくなった」(触覚)「酢の匂いめっちゃ臭い」(嗅覚)「カルピスの色になった」(視覚)と五感をフルに使って楽しむ様子が見られ、子ども達にとって貴重な体験が出来た実験となりました。これからも、子ども達が「やってみたい」「知りたい！」という主体的な気持ちを大切にしながら、探求心や思考力が育んでいけるような活動を楽しんでいきたいと思っています。(坂)

